

チャノキイロアザミウマ情報第2号

平成30年6月15日
愛知県農業総合試験場
環境基盤研究部病害虫防除室

1 発生状況

6月上旬のブドウで行った、ほ場周囲における本種の生息数調査（ブドウ10ほ場のイヌマキ（防風垣）10新梢の払い落とし虫数）による捕獲個体数が5.2頭（平年3.7頭、前年5.7頭）で、5月下旬の調査から増加し、平年に比べてやや多い状況です。

黄色粘着トラップによるチャノキイロアザミウマ成虫の誘殺数は、南知多町のカンキツほ場ではやや少ない状況ですが、豊橋市、東浦町のブドウほ場ではほぼ平年並、蒲郡市のカンキツほ場では6月第1半旬から増加し、やや多い状況です（図）。

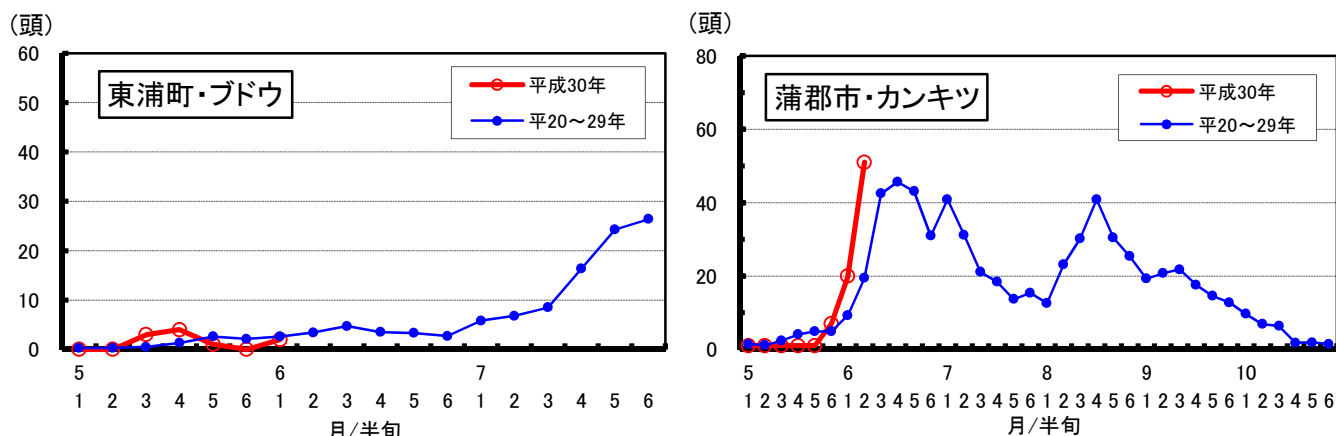


図 黄色粘着トラップによるチャノキイロアザミウマ成虫誘殺状況

2 発生ピークの予測と防除

本種は成虫の発生ピーク時期が防除適期です。有効積算温度を利用したチャノキイロアザミウマ第3世代成虫の発生ピーク予測日は、中山間部に位置する稲武を除いて**6月30日から7月6日**で、前年より**5日から9日早い**と予測します（表）。発生の多いほ場では、表の第3世代成虫発生ピーク時期に防除しましょう。なお、ブドウでは、袋かけまでにコルト顆粒水和剤やダントツ水溶剤などで、カキではコルト顆粒水和剤やスプラサイド水和剤、モスピラン顆粒水溶剤などで防除しましょう。カンキツでは6月1日発表の「平成30年度病害虫発生予察注意報第2号」を参考に防除しましょう。

また、6月14日名古屋地方気象台発表の1か月予報では、向こう1か月の平均気温は平年並か高いと予測されており、ピーク日が早くなる可能性があるため、今後の気象状況に注意してください。

表 チャノキイロアザミウマ成虫の発生ピーク予測日

	愛西	南知多	名古屋	豊田	大府	岡崎	蒲郡	豊橋	伊良湖	新城	稲武
第2世代	6/13	6/12	6/7	6/12	6/9	6/13	6/11	6/11	6/12	6/14	7/5
第3世代	7/5	7/6	6/30	7/5	7/2	7/5	7/4	7/5	7/5	7/6	7/29
(前年)	7/10	7/12	7/7	7/12	7/8	7/12	7/11	7/12	7/10	7/15	7/13*
前年差	5日早	6日早	7日早	7日早	6日早	7日早	7日早	7日早	5日早	9日早	8日早*
第4世代	7/24	7/25	7/19	7/24	7/19	7/24	7/23	7/23	7/24	7/25	8/19

各地のアメダス平均気温から予測。 ※稲武については、第2世代の前年ピーク日と前年差。

6月14日までは実測値を、それ以降は平年値（豊橋、大府は前年値）を用いて計算。

前年の第3世代は、前年気温の実測値を用いて計算。